



# たらま

## 議会だより



**P2** 住宅リフォーム補助へ1千万円

**P5** 口蹄疫対策支援を予算化

**P6~** 7議員が町政を問う

**P12** 2委員会が先進地視察



平成22年  
6月定例議会

どろんこになっての「から芋」の苗植え  
(黒肥地保育園)

No.79

熊本県多良木町議会発行

6月議会

# 用弁償をカット!

会における議員の費用弁償（日当）は支給しない』とする  
一致で可決した。

6まで開催され、専決処分の承認報告等8件・条例等4件・  
件・議員発議2件を提案し、慎重に審議した結果、原案ど  
名の議員が登壇し、町長等の考えを質しました。

## 7,578万円追加し総額57億378万円とする

- ..... 1,500 万円
- ..... 3,039 万円
- ..... 1,218 万円
- ..... 3,060 万円
- ..... 1,000 万円
- ..... 748 万円
- ..... 152 万円
- ..... 158 万円



改修された多10-2公民分館



消毒プールによる口蹄疫対策

# 住宅リフォーム補助 一千万円を予算化

### 特 別 会 計

- 下水道事業 ..... 4,207 万円減額
  - 準幹線実施測量設計委託 ..... △ 624 万円
  - 準幹線築造工事 ..... △ 3,388 万円
- 後期高齢者医療 ..... 55 千円追加
  - 保険料還付金 ..... 55 千円

## 費 許 明 越 繰

※ 21年度から22年度へ  
繰り越される予算

● 携帯電話伝送路整備事業	1億1千438万円	● 緑の産業再生プロジェクト	4千600万円
● 経済危機対策臨時交付金事業	1億7千90万円	● 都市農山村交流促進施設設置事業	1千539万円
● きめ細かな臨時交付金事業	1億1千660万円	● 集落道路整備事業	445万円
● 介護基盤緊急整備等事業	2千625万円	● 町道永原線整備事業	7千353万円
● 特別養護老人ホーム増設補助事業	900万円	● 防災情報通信設備整備事業	793万円
● 施設開設準備経費助成対策事業	540万円	● 小学校改築・補強事業	14億1千895万円
● 子ども手当システム改修事業	359万円	● 農業用施設災害復旧事業	136万円

## 議 会 改 革

# 議員の費

★議会改革の更なる前進のために『定例  
条例改正案を議員発議で提出し、全会

平成22年度6月議会は6/8～6/1  
同文議決2件・補正予算3件・選任同意1  
おり可決・同意しました。一般質問には7

## 一般会計22年度補正予算は、

### 主 な 歳 出

- ★介護基盤緊急特別対策事業補助 ……………  
(公民分館改修費 2カ所)
- ★農業経営体育成交付金事業補助金 ……
- ★町道赤松線整備事業費 ……………
- ★森林整備新設作業道開設工事 ……………
- ★多良木町緊急地域経済対策事業 ……  
(住宅リフォーム補助)
- ★口蹄疫対策事業費 ……………
- ★脳ドック委託料 ……………
- ★女性特有のがん検診推進事業 ……………



【新任】  
木村 輝美氏  
(奥野)

人権擁護委員推薦  
佐伯孝子人権擁護委員が平成22年  
9月30日をもって任期満了となるた  
め同氏を推薦しました。



# 3/30 臨時議会

## 費用弁償に関する条例改正

熊本市が政令指定都市へ移行するため、熊本市への費用弁償が2,000円となるが、これまでどおりに1,500円とする条例改正

## 多良木小学校改築建築工事請負契約の締結

1. 契約の方法 指名競争入札
2. 契約の総額 9億1,350万円（消費税込み）
3. 契約の相手方 光進・味岡建設工事共同企業体



安全を祈り エイッ!!

## 多良木小学校改築電気機械設備工事 請負契約の締結

1. 契約の方法 指名競争入札
2. 契約の総額 1億5,911万7千945円（消費税込み）
3. 契約の相手方 九電工・尾前電気設備特定建設工事共同企業体

## 21年度一般会計補正予算

歳入・歳出それぞれ7,751万1千円を減額し予算総額を78億7,166万3千円とするもの

歳入は地方交付税が約1億9,900万円の増が決定となり、基金繰入れ金など2億6,867万円・町債3,300万円等を減額するもので、歳出は民生費・農林水産業費の減額と精算に伴うものが主なものである。繰越明許費補正は総額4億3,442万7千円となった。

久米財産区・介護保険・後期高齢者医療等の特別会計も精算を主なものとして補正された。

## 陳情・要望書

件名・要旨	提出者	付託委員会	結果	意見書
本町林業振興の活性化について	多良木町森林組合	経済建設委員会	採択	なし
現行保育制度の維持と子育て支援施策の拡充を求める意見書提出に関する陳情書	光台寺保育園長 橋口素美他7名	厚生文教委員会	採択	あり 発議 5号

# 全員協議会報告

4月5日と23日・5月21日・6月1日の4回にわたり全員協議会が行われた。

協議内容の主なものは、**口蹄疫対策**、ブルートレインの開業、住宅リフォーム助成、継続審議として火葬場問題、婚活々動、そして議会改革など多岐にわたり協議をした。

**口蹄疫対策** 県道中河間多良木線で車両消毒がされている。畜産農家には、消毒剤を6回にわたり配布し、畜舎周辺の徹底した消毒体制が取られ感染防止の対策が取られている。また、経営支援策として、家畜市場の開催延期により、その間の餌代の一部助成や子牛販売代金等の遅延に対して、1戸40万円迄無利子の融資制度が新たに創設された。

**ブルートレイン** 7月1日に開業した。6月30日に落成式を計画していたのだが、口蹄疫の関係で延期をよぎなくされた。児童交流で、7月30日から8月2日までの3泊4日で姉妹町の北海道の南幌町から小学6年生10名が多良木町を訪問予定になっている。ブルートレインに宿泊してもらい、子どもたちの思い出のひとつになることを期待している。

**住宅リフォーム助成** 町民が居住している住宅の増改築工事などを、町内の施工業者に発注される場合において、その経費の一部を補助することにより生活環境の向上と、町内産業の活性化を図ることとした。補助対象は10万円以上の工事で、工事費の20パーセントで20万円を上限に補助をする。

**火葬場問題** 継続審議として毎回取り上げている。6月11日には議員全員で多良木火葬場、あさぎり町の火葬場、水上火葬場の3か所を視察した。併せて、宮崎県西米良村にある火葬場にも視察する予定だったが、口蹄疫の関係で今回はとりやめとした。この問題については、9月の定例議会までには、議会としての方向性を出すこととした。

**婚活々動** 各委員会から1名の代表を選出し、正副議長も含めて各種団体との連携を密にしながら最優先課題と位置付けて取り組むこととした。

**議会改革** 6月議会の中で、議員発議で定例会の費用弁償についてはカットすることに決定した。また、町民の皆様と議会との交流を考えた議会報告会の開催を企画している。このことも9月議会までには結論を出すこととした。

# 7人が町政を問う

[全ての質問事項]

## 1 井上 光男 議員(6ページ)

- ① 活性化について

## 2 福島 典生 議員(6ページ)

- ① 重要政策の進捗状況について
- ② ブルートレインの利用方法について
- ③ 槻木地区の振興策について
- ④ 多良木火葬場の老朽化について

## 3 恒松 春喜 議員(8ページ)

- ① 農林業の振興策について
- ② 有形文化財保存の助成は
- ③ くま川鉄道について

## 4 森下 孝幸 議員(8ページ)

- ① 農林業の振興について
- ② 文化財の保護と保存について

## 5 坂口 幸法 議員(9ページ)

- ① 健康づくりと食育について
- ② 給食費未納問題について
- ③ 子宮頸がん予防について

## 6 瀬崎 哲弘 議員(10ページ)

- ① 里山活性化について
- ② 口蹄疫問題について
- ③ 農業生産状況について
- ④ くま川鉄道の運営について

## 7 久保田 悦子 議員(10ページ)

- ① 「トレーサビリティ」の対策について
- ② 口蹄疫問題について
- ③ 国保税について
- ④ 水道料金の値下げについて
- ⑤ 町営住宅の危険防止について
- ⑥ 川辺川問題について



井上光男議員

質問 今後負担金が予想される、くま川鉄道活性化について

**Q**

くま川鉄道活性化について

**A**

人吉球磨の足をどのように確保するか

一、事務取扱を広域行政でできないか  
二、くま川鉄道宝くじの企画はできないか

三、通勤時間帯以外の格安料金、児童、園児の格安料金設定はできないか

**Q**

槻木地区を今後どうしたいのか

**A**

自然を利用した地域振興を

質問 槻木の方の一番の期待は、槻木の振興は槻木出身の町長の時にどうにかしてほしい

ということではないか。槻木の将来の展望についてどのように思われているのか。

町長 槻木地区の方が町に出てくるのに一番大変なのは「県道の問題」だと思う。離合所が少ないという点で、離合所の件はずっと要望している。  
県もよく理解してもらい、何箇所かの予算

**町長** くま川鉄道は、

厳しい経営となっており、人吉・球磨の足をどのようにして確保す

るのか、バスなのか鉄道の選択を迫られている状況にあると思っ

ています。そこで、事務取扱については、第三セクターのくま川

鉄道(株)で運営をしており、広域行政組合に移

行するのは難しいと思います。

宝くじの企画ですが、夢はありますが、法的な制約や人吉球磨を対

象とした時に利益が出てくるのか、疑問が残ります。また、格安料

金の設定はできないか

ということですが、料金の改定は国土交通省の許可が必要となりま

すし、料金が高いのか、また安くすれば利用が増えるのかを考えた時、

ちょっと難しいと思います。

### Q スマートインターの進展は

### A 十市町村同じ思いで要望活動

**質問** 高速道路とのア

クセスは必要不可欠なところですが、スマートインターの進展はどうなっているのか。選

挙で各議員も代わっていかれるので、市町村

全体での確固たる取り組みが必要。まず本町から取り組みを表現できないか。

**町長** 山江村は、当初サービスエリア

を使ったスマートインターを要望されていますが、今は、

二一九号線につながる蟹作にスマートインターチェンジを作るこ

とに賛同して頂き、十市町村とも同じ思いとなっています。「人吉



スマートインター候補地

球磨スマートインター

チェンジ整備促進協議会」を結成し、毎回、国・

県への要望活動を行っています。

も計上され、実施に移

る状況である。槻木の振興には自然を利用し、

また自然を活用しながら積極的に今後も取り組んでいきたいと思う。

### Q 政策決定の過程を明確に

### A 事業の周知徹底をしなければ

**質問** 「政策決定を自分

たちは知らなかった」という意見をよく聞く。知った時は決定していたという事例がたぐさ

んあると言われる。政



福島典生議員



槻木トンネル

策決定までの過程を

もっと町民の皆様方に知ってもらえるような方法を考えるべきではないか。

**町長** いろんな事業等々は議会だよりでも、

町の広報でもやっている。なかなか読んでくれないと悲観するだけではなく、読んでもらえ

るような方法、それに

は紙面作りを工夫する

とか、また緊急性を要する場合は、防災無線を通じてやっていく方法などを考えている。

主要な事業については、議会ごと報告をして

いるので、議員の方にも住民の皆様と接するときに、ご理解をいただけるようにご説明を

しています。

恒松春喜議員



質問 3月定例会において町長は22年度における施政方針を示されたが、その中でも「農政」

いわゆる農林業に対する具体的な政策が見えない。「農林業の活性化」と記されているが、農林業関係者が期待をもてる具体的な政策を示す必要があるのでは。

Q 文化財保護に充分な助成を

A 無形有形問わず補助

質問 古い建造物や彫刻、古文書などの有形文化財が町には多く

残っている。この文化財を後世に伝えるために保存していく必要が



有形文化財 馬門薬師堂木造薬師如来坐像

Q 見えない農林業政策

A 高齢化に適した農産物を

町長 農林業の活性化

については皆さん同じ思いだと思いますが、現実には妙案とか決定的な案がないというのが現状であり、農林家が生産したものを出荷するだけでなく、加工して「付加価値をつけなくてはいけない」ということで、JAでも「加工場建設」の計画が

あるようですので、一緒に考えていきたいと思っております。また農

林家の高齢化に適した農産物や薬草関係とか、健康食品につながっていく農産物が大事だと思います。前向きに取り組んでいく方向で今後も考えていきたいと思えます。

Q 里山の農業振興は

A 耕作放棄地の利用を

質問 本町でも人口減少や高齢化が進み、集

落機能が低下し過疎化が著しい。中山間地域資源の保全管理上の問題が深刻化し、農業生産が維持出来なくなる。農林業を支えてきた、集落住民の生活に支障をきたし、農地や山林

の荒廃による農林地の多面的機能にも悪影響をおよぼすことが考えられる。町長の里山農業振興に対する考えは

町長 自給率を向上させるためにも、耕作放棄地を利用していくことが、農村集落の維持や環境保全、地域資源

Q 発症した場合の埋設箇所は

A 町有地や第三者に相談

質問 口蹄疫対策について

は、えびの市で口蹄疫が終息し、球磨畜産農協では、七月の仔牛せり市がなされるよ

うであるが都城市で七月九日発症したが、せり市はあるのか。また本町で発症した場合の対策は土地問題が一

の保全に繋がるものと思えます。市民農園などの募集も再度考慮し、農林業の活性化に鋭意努力をしていきたい。松崎農林課長 中山間地制度があるゆえに、いま荒廃農地への移行が止まっている状況です。今回、二期から三期に移る分については、緩和措置により逆に増えるのではないかと考えています。

番と思うがどのような方法をされるのか

松崎農林課長 万が一発症した場合は移動ができず、畜舎の近くに埋めることが条件となっていたが、今回、口蹄疫対策特別措置法が閣議決定され、ワクチンを打った牛につい



### Q 子宮頸がん予防ワクチン接種補助を

### A 倫理的なことも含め検討したい

坂口幸法議員



**質問** 若い女性に増えている子宮頸がんを予防するワクチンが昨年解禁され、全国的にもワクチン接種補助をする自治体も増えていますが、本町も取り組むことはできないものか。

ある。従来その地区の鎮守として地域の人々の信仰を仰ぎ、また昔は子どもたちの遊び場であった。地域での管理保存には限界がある。町で更なる充分な助成はできないか。

**宮本教育振興課長** 町の文化財保護条例で、無形・有形を問わず、管理及び修理に対する補助があります。条例の中で管理、修理、修繕保存に多大な負担がかかる場合には補助をすることができません。

**町長** 地域の方々と相談をしながら、貴重な建物、文化財を残していくようなことを要項に従って補助をやっていきたいと思っています。

**澤村健康保険課長** 県内では美里町が6月議会の補正で可決し、小国町と芦北町が補正予算を提案しているそうです。いろいろな情報を得ながら実施については判断を仰ぎながら取り組みたい。

**町長** 倫理的なことも含め検討し、この事業は国が主体となって行うべきだと思っていますので、町村会でも意見を出しながら県・国に要望していきたい。



森下孝幸議員

でのみ移動できることになった。そこで、畜舎の回りに埋却処分する場所がない農家については、町有地や第三者の土地を相談し、殺処分し、埋めることになる。

畜舎の回りに埋却処分する場所がない農家については、町有地や第三者の土地を相談し、殺処分し、埋めることになる。

### Q 給食費未納問題は A 150万7千円が未納に

**質問** 本町における給食費未納となっている金額と未納率、その未納の原因はどのようなことであると分析しているか、またその対策は。

**宮本教育振興課長** 平成21年度末で150万7千円ほどあり、未納率は約1.6%弱となっています。

す。その原因としてまずは、近年における景気低迷による所得収入が減少していることが大きな原因であると思います。ある一部の保護者に規範意識の低下が見受けられるのも事実ではあります。給食センターや各学校のPTAの皆様と連携を

強化し、この問題に取り組みたい。また、今回の子ども手当支給にも対策を講じたい。



楽しい給食風景



消石灰がまかれた牛舎

瀬崎哲弘議員



質問 宮ヶ野周辺活性化の為、休校施設を利用した、仮称「かじか

の里づくり」の提案、かじか蛙や螢、蛸などの自然物を生かした鑑賞ツアーにコンサートや演芸などをセットし、有志による食のもてなしなど、地域の人たちが元気になる触れ合

Q くま川鉄道の運営について

A 今回は各市町村で

質問 赤字経営による分担金の結論が出ているが、これまでにどん

な論議がなされてきたのか、広域行政組合が持つ基金から運用出来

Q 里山活性化について

A 夢のある集客構想を

いを盛り込み、ブルートレインとの相乗効果に期待出来ないか。

町長 本当に夢のあるといえますか地域ならではの特色を生かした構想だと思います。ぜひこういうものを今後、ブルートレインを中心にというわけではありませんが、総合的に考えながら、集客をし

てブルートレインや他の宿泊施設を利用していただきながら、こういう自然に親しむという、都会にない部分で競争をしながらやっていかなければいけないと思いますので、ぜひ検討していきたいと思

います。

町長 ふるさと創成基金のことですね。これ

Q 町営住宅の段差は

A 次年度判断を

質問 町営住宅の玄関の段差が高く危険であるようです、どのような対策を考えているのか。

善環境整備課長 スロップ・手すり等が必要な住宅は現在93戸あり、

今までに36箇所

の改修が終わっています。



玄関に段差がある町営住宅

次年度の「単独事業」か「社会資本整備総合交付金」という補助で継続事業としてやるかは、今後財政係りと相談しながら判断します。

Q 国保税に一般財源を

A 慎重を期して

質問 国民の約4割が加入している国民健康保険は保険料が高すぎて払えない。収入がなくても全額免除の制度がなく生活を圧迫し、窓口負担が多くて病院

にかかれないなど医療を受けられない人が増えている。社会保障としての皆保険制度は瀕死の危機にある。本町は約1千400万円の税値上げを検討しているよ

うだが町民の生活は苦しく、一般財源を使って「値上げすべきではない」と思うが。

澤村健康保険課長 町の国保税の収納率は前年度を上回っていますし、医療費も1千160万円ほど上回っていますので、払えない人が増えて、病院にかかれない人が増えているとは

合併55周年

# 植樹祭

## 多良木町の「水ガメ」に 記念植樹

多良木町が今年、合併55周年を迎え、4月14日宮ヶ野地区の町有林において、記念植樹が行われました。

この町有林は町が水源林として今年購入した土地で、場所は多良木町の宮ヶ野取水口の上流にあり、将来の水源林となるようにモミジ、ケヤキ、モミなどの広葉樹の植樹を行った。

参加者は黒肥地小緑の少年団の6年生、一般参加の町民など85人、議会からも議長をはじめ、多数の議員が参加し黒肥地小「緑の少年団」の児童と二人一組になり、多良木町林業研究クラブの指導のもと、思い思いの樹種の苗木を、議員と児童が協力し丁寧に植えた。将来、この木が多良木町の「水ガメ」になることを祈り、ここちよい汗を流しながら植樹を行った。(山中)



は目的にそってやっていくわけですが、くま川鉄道に使えないかという意見と、ふる里資金の目的に向かって使うべき資金だからというところもあります。今回6千万円を各町村で出すといったときに、ふる里基金から出したらと話もありましたが、

合併市町村の負担金の問題もその中に含まれておりますので、急々にはできないというところで、今回は各町村で6千万円ずつ拠出すると決まったわけです。



9月から無人化になる多良木駅

久保田悦子議員



言いがたいと思えます。今後、国保税の調定額は不況等の影響により減少し税収が下がり、また医療費は上が

ると予想されます。値下げされていた分を、平成19年度なみに保険料を戻すと1千400万円の増収となりますが、それでも現時点で3千800万円の歳入不足が見込まれ、差し引き約2千400万円程度足りないということになります。

**町長** 一般財源を国保税につき込むことは、いわゆる「社会保険」に加入している人の税金をもつぎ込むことになりまして、慎重を期さないとはいけません。

## 若者夫婦に家賃補助 — 総務常任委員会 —

少子化対策事業の先進地として知られる、青森県の六戸町で視察研修を行なった。

六戸町は人口1万664人で世帯数が3826世帯、規模的に多良木町と非常に似かよった町である。少子化対策事業の一つに、若者定住支援事業があり、六戸町内の民間賃貸住宅に入居する若者夫婦世帯に対し、その家賃の一部を補助する事業である。

平成24年3月31日までの2年間、町内の民間賃貸住宅に居住地を定める、年齢20歳以上40歳未満の夫婦に補助される。補助額は家賃の2万円を越えた部分を、2万円を限度額として補助をする。所得に制限はなく、その他の条件として、「町税、使用料の滞納がないこと」、「生活保護の補助を受けていないこと」、「町内会に加入すること」となっている。

次に、子ども医療制度について研修を行なった。この条例は子どもを養育している者に対し、子どもに係る医療費の一部を助成することにより、子どもの保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育て支援に資することを目的としている。

平成20年4月1日より施行され、平成23年3月31日までの3年間で失効する。児童の対象条件として六戸町に住所を有し、かつ15歳までとなっている。医療費助成の対象となる者は、医療機関、薬局、歯科、鍼灸等で、健康保険の適用を受ける一部負担額である。申請に必要な書類を揃え領収日より1年以内に申請を行なう。多良木町では現在6年生まで無料化だが、今後中学校卒業までを対象とするよう、協議をしていく必要がある。(恒松)



## 先進地を視察

### 姉妹町 南幌町 — 経済建設常任委員会 —

去る6月30日、北海道の南幌町を昨年到现在に続いて2回目の訪問をした。昨年は、政務調査の折に町長、議長の親書をたずさえ表敬訪問をしたのだが、残念ながらわずかな時間の滞在だった。

多良木町は、南幌町で、町長、議長の出席のもと、平成22年2月2日午後2時から姉妹町の締結を結んだ。今後は、児童交流を手始めに、物産交流、教育文化、産業振興などを図りながら、ともに繁栄をするように交流事業を推進をしていくと思う。

そこで今回、町民の皆様方に南幌町とはどういう町かということをお伝えするためにも、まずは自分たちが姉妹町のことを知ることが大切なことではないかと思い研修視察地に選定した。

当日は、南幌町の三好町長、岡議長も同行して町内施設を案内していただいた。リバーサイド公園、親水公園・排水機場、国営農地再編事業場、保健福祉総合センター、そして最後に町が一望できる、ふるさと物産館までを研修視察した。



役場と町の中心部

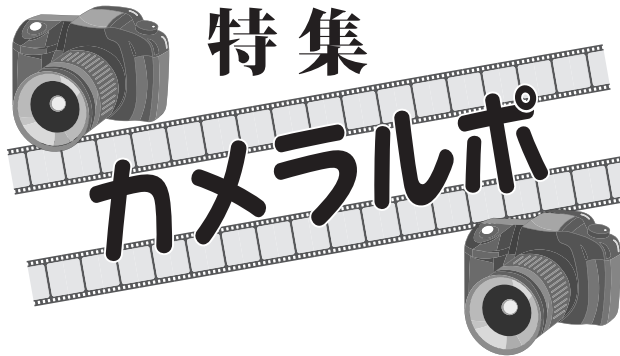
どの場所も、どの施設も本町とは規模が違いすぎるという印象を感じた。道路にしても、道幅も広く、斜めに合流するような道路はなく、碁盤の目のように直線的に交差しながら道路がどこまでも続いている。南幌町は、広々とした大地の中で、静かにそしておおらかに暮らしている町だという印象を感じた。

来年の2月には、多良木町の小学生が訪問する計画をしているが、そういう広大な風景を体験するだけでも一生の思い出になる町ではないかと強く感じた。(福島)



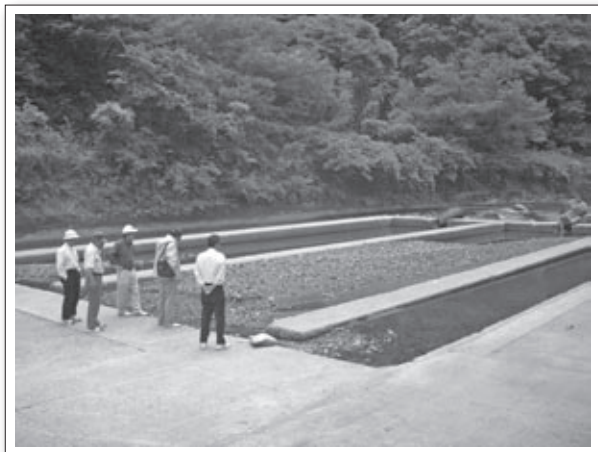
**風力発電（西原村）**

風車の数が10基、発電出力が17,500kW、民家からの距離が2kmで、住民の健康被害の報告はないそうです。



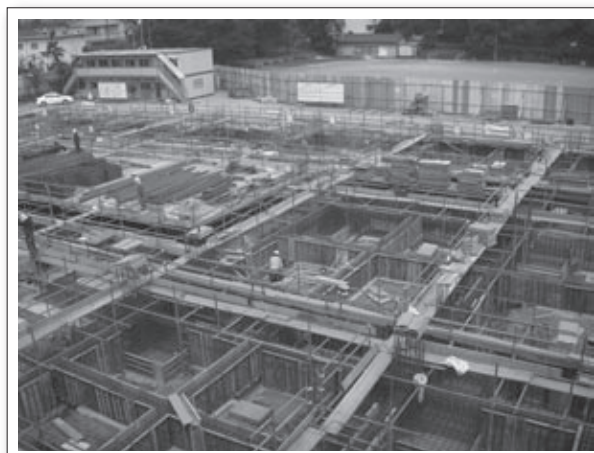
**小水力発電（あさぎり町）**

上のびハ公園に、小水力発電用の水車が3基あり、公園内の外灯の電源に利用されています。太田家住宅でも応用できるのでは？



**河川プール（槻木 綾北川）**

旧槻木小で利用されていた河川プール、キャンプ場オープンにむけて、中に堆積した砂利を取り除く計画が予算化されました。



**多小建て替え工事現場**

地元の企業による建設工事がはじまりました。児童の安全に最善の注意をはらい、3月の完成を目指して作業が進められています。



**あさぎり町火葬場**

火葬場の老朽化にともない、より良い対策を見いだすべく視察を行ない、執行部と一緒に慎重に協議を続けていきます。



女性消防隊の防火寸劇（第一保育所）

## 家つまぐれば銭んの出っげな

## 豆ちしき



多楽男

こんど多良木じゃー、家ばつまぐれば  
補助金の出っげナ。

いろいろ決まりのあっとじゃろー。

じゃっとたい。  
よか事の決まったよナー。

まず多良木の町民で自分の家は町内の資材販売店や町の  
建設業者や大工さんに頼まんばんとたい。そぎゃーすれば町民の  
生活は快適になって、町の産業は発展すっど。

じゃんナー。そいから

10万円以上の仕事で、増改築・修繕・模様替え、車庫やら防犯設備やら  
太陽光発電のごたるCO2の削減につながるごたっもよかとバイ。

いくらまでよかとカナ。

工事費の2割は出て、最高限度額は20万円までたい、  
たとえば100万円の工事のときにゃー20万円出っどたい。  
そして、今年は7月から1,000万円予算のあって  
25年の3月まですっどバイ。

そらよかナー。  
おいも風呂なっどつまぐろーカナ。

おいもごぎゃん時なんかせんば、詳しかことは役場までナ。



球磨雄

## 豆ちしきのご要望は事務局へ

## 編集後記

うっとうしい梅雨の候となり、豪雨が続き  
ますが、災害のないことを祈りたいと思っ  
ます。

▼四月二十日に都農町で発生した口蹄疫  
は、感染の広がりを抑えるため、牛や豚  
二十七万六千頭の殺処分と埋却を終え  
七十日ぶりに大きな節目を迎えました。こ  
れからは、農家の再建支援や打撃を受けた  
観光・運輸・製造・卸小売・サービス・飲  
食業など地域経済の復興に移るものと思っ  
ます。球磨・人吉にも大きな影を落とした  
口蹄疫ですが、まだ、感染経路が不明のま  
まであり、今後も消毒などの防疫には万全  
を期す必要があります。▼サッカーのワー  
ルドカップ南アフリカ大会で、日本はカメ  
ルーン、デンマークに勝利し、決勝トーナ  
メント一回戦でパラグアイにPK戦で惜し  
くも敗退しました。この大会では、「チー  
ムワークの素晴らしさ」が大変印象的でした。  
▼七月一日に簡易宿泊施設「ブルート  
レインたらぎ」がオープンしました。熊本  
―東京間を往復していた寝台特急「はやぶ  
さ」三両の払い下げを受け、簡易宿泊施設  
として改装したものです。交流人口を増や  
す拠点施設として、大いに期待されます。  
その為には、町の振興に役立てるため、皆  
で考え、取り組んでいく必要があります。  
▼これからも、住民の皆さまと双方向で取  
り組み、読みたくなる「議会だより」を目  
指します。（鍋田）

### 広報特別委員会構成

- ◎ 鍋田 清高 坂口 幸法
- 林田 俊策 山中 馨
- 恒松 春喜 福島 典生